

大光寺だより かがやき

報恩講を勤めました



報恩講おつとめの様子 (大光寺)

親

鸞聖人の報恩講をお勤めました。

報恩講とは、浄土真宗の宗祖、親鸞聖人のご命日のお勤め、いわゆる「法事」です。報恩講は「恩に報いる人たちの講(集まり)」

発行 大光寺 山藤 雅史
静山 藤 職
寂住

という意味になります。親鸞聖人がご存命の時には、親鸞聖人の師である法然上人のご命日(1月25日)に法然上人のご命日を縁としてお念仏の集まりがあったと言われています。

その後親鸞聖人が亡くなられてからは、浄土真宗では親鸞聖人のご命日である11月28日(新暦では1月16日)に親鸞聖人の徳を偲んでお念仏の集まりをしていたようです。なぜ、報恩講を勤めるのか。なぜ報恩講にお参りしてくださいと勧められるのか。それは、親鸞聖人がお念仏のみ教えを私たちに伝えてくださらなければ、私たちは親の法事も勤めることができません。親鸞聖人が、いてくださらなければお寺も近くになかったことでしょう。宗祖である親鸞聖人のご命日のご縁を通して、仏様にお参りするご縁をいただき、僧侶・門信徒一同が仏法を問う訪ねていく場になるのです。

今年山口県から田坂先生にお越しただき仏さまのお話をさせていただきました。仏教は



御法話の様子 (教楽寺)

難しい・・・と思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、本当にわかりやすく、優しい語り口でお話をいただきました。また、本堂の仏華は西本願寺の仏華を全て生けている「花新」さんにお願ひしました。お寺にとっても、ご門徒の皆様にとっても、何より大切な法要が報恩講です。どなたでも気軽に参りできますので、今年お参りできなかった方は来年、どうぞお寺にお参りください。いね。



宗祖の位に供された仏華。お寺の境内には以上あります。ちなみ西本願寺の仏華は3メートルあります。

初出仕

小学校1年生の娘がこのたびの報恩講で初出仕しました(上の写真のどかにいます)。かなり緊張していたみたいですが、無事に勤めてくれたので嬉しく思います。今後、学校が休みの日は、お寺の法要に出仕いたしますので、皆様にも見ていただけると有難く思います。



教えて住職!

大切な家族や親しい友人が亡くなった時、

何から始めてどうすればよいのかわからないという質問をいただきました。特に宗教

儀礼について住職の思いも交えながら、

①「親族を亡くした家族」の立場と

②「親しい友人を亡くした参列者」の立場

の二点から何号かに連載する形でお答えして

いきたいと思います。

親族が亡くなられた時

親

族がお亡くなりになられた時は、何はともあれ

お寺にお電話をいただければ

と思います。最近では自宅で人

生の終わりを迎える方が極端

に少なくなっています。病院でお亡くなり

になって、「どうしよう、どうしよう」と

いううちに、病院から「葬儀社はココで・・・」

とすすめられ、言われるがままに電話をす

ると葬儀社からお寺へ電話がかかってくる

わけです。

人がお亡くなりになつていくわけですから、

気が動転しているのも確かなのですが、お

寺へは、家族の方が電話をされるのが良い

と思います。

誰がお亡くなりになったということだけ

お伝えいただければ結構です。その後、葬儀社を決定して、後々の流れについて決定していくことになりま

す。もし葬儀社が決まっていらないよ

うであれば、お寺にご相談ください。希望

する形の葬儀ができる葬儀社を紹介させて

友人が亡くなったと連絡を受けたとき

親

しい友人がお亡くなりになったと連絡を受けたとき、まず確認をしたい

のが、ご遺体はどこにあるかということ

です。近年は病院でお亡くなりになられて、

・身内が亡くなった時や、親しい友人が

亡くなった時にどうすればよいか。

またその心構え等について教えてください。

日時の決定

葬儀社が決まったら葬儀社と諸々の打ち

合わせをしていくこととなります。その中

に、通夜・葬儀の日時の決定があります。

多くの方は事前に住職の予定をご確認いた

だいてから日時の決定をしていただいで

るのですが、稀に日時を決めてしまつてか

らお寺に「この日、この時間でします」と

ご連絡をいただくことがあり、困つてしま

うことがあります。大切な人を亡くされ、

気が動転している中で様々なことを決めな

くてはならないので無理はありませんが、

日時の決定は住職の予定もご

確認の上決めていただきます

ようお願いいたします。

友引に葬儀を出してはなら

ない、との根拠のない迷信を信

じている方がいらつしやるよ

うです。友引というのは本

当は「共引」といって「共に引き合つて勝負

なし」すなわち「良くも悪くもない、引き

分け」という意味でした。いつの間にか漢

字が変わり、それを「友を引く」という言

葉尻だけで「その日に葬式をすると死者が

友を引っぱり、さらに死人が出る」と解釈

するのは、死者に対する冒瀆であり失礼な

ことではないかと思ひます。字面だけをとつ

た迷信には惑わされないように、しっかりと

自宅に戻ることもなくそのまま葬儀会館に運

ばれていくことも珍しくありません。「○

○さんは今どちらにいらつしやいますか?

一目お会いしたいのですが」と尋ねれば教

えていただけると思ひます。この時に、故

人のもとを訪ねる時の服装は普段着で良い

とされています。お亡くなりになつてすぐ

に礼服(喪服等の黒い服装)で行くと「亡く

なるのを待つていた」ように受け取られて

しまうからさうです。

お念珠を忘れずに持つていきましよう。

臨終勤行(枕経)

人が亡くなってする最初のお勤めを臨終勤行(りんじゅうごんぎょう)と言います。一般に枕経と呼ばれていますが、正しくは臨終勤行です。

臨終勤行は、永年お育てをいただいた阿弥陀如来さまに対するお礼のお勤めです。これは、人生の終わりにあたって、昼夜を問わず私たちをお導き下さった家庭のお仏壇に対する人生最後のお勤めで、本来であれば臨終間際の本人が勤めるのですが、それがかなわないとき、普段からお世話になっている僧侶に来ていただき、本人に代わってお勤めをしていただきます。

臨終勤行に僧侶が来るとき、ご家庭にお仏壇(ぶつだん)があるときは、仏間にご遺体を安置し、僧侶にはお仏壇の前でお勤めをしていただきますよう。ご家庭にお仏壇がないときは、適宜「南無阿弥陀仏」のお掛け軸を奉懸(ほうけん)し、その前に華・香・蠟燭を飾り、ご遺体を安置します。僧侶にはお掛け軸の正面に座ってお勤めをしていただきますよう。なお、



両例とも僧侶が座ったとき、真後ろにご遺体の顔がくることのないように、ご配慮をお願いします。

僧侶が到着したときに、葬儀社と打合せをしている方をお見かけいたします。お勤めが始まるときは、身内も世話人も葬儀社も、打ち合わせの手を一旦止めていただいて、全員で故人のご遺徳を偲び、お仏壇に手を合わせることを心がけていただきました。思います。その際、お念珠は必ず持ちましよう。式章もあれば着用しましよう。

また、浄土真宗では一膳飯(茶碗にご飯を盛って箸を立てる)やその他の迷信俗信は用いせん。ご飯を供える際はお仏飯でお願いします。

臨終勤行や通夜、葬儀は死者のために行うものではありません。

亡き人が自らの命を懸けて日頃仏法に見向きもしない聞こうともしない私に対して「仏法を聞きなさい。仏様を拝みなさい」という、亡き人の命の叫びであることを深く自覚しなければならぬと思ひます。命の終わりに際して、多くの人は涙を流します。それはただ、その人が亡くなった、いなくなってしまうという悲しみの涙だけではないけな思ふのです。今まで私を育ててくれた、この人のおかげで私はここまで命を育んでくることができたという感謝の涙もあると思ひます。

臨終勤行は、そういった様々な故人との思い出、感謝の涙を流し、そして「我にまかせよ必ず救う」と私に対して願うてくださる阿弥陀様のお慈悲に感謝し「南無阿弥陀

陀仏南無阿弥陀仏」とお念仏を称えさせていただくものでありますよう。

法名の準備

生前に本願寺で帰敬式を受け、法名を

いただいたりしている場合は臨終勤行の際、住職に法名をお渡しください。

もし、法名が見つからない場合は、法名を

いただいたりしている旨を住職にお伝えください。

院号について

臨終勤行が終わりましたら住職が「院号はどうされますか」と伺います。

院号については「かがやき」第3号に載せていますのでお読みいただければと思います。もし、かがやきが見つからない場合はお寺の本堂に院号についての説明書きを置いていただきますのでお持ち帰りください。

何も知らないままに必要か不要かを決めてしまうほど愚かなことはありません。いざその時になって院号の話をすると、気が動転している間に急に決めてしまわなければならなくなるといふ、悪徳商法のような事になってしまいかねません。お金も必要になる話ですので、生前に家族で話し合っていたらいいとおくことをお勧めいたします。なお、院号は生前にいただくこともできません。詳しくは住職までご相談ください。



気になりますか？友引

臨 終のその時は、時と日を選びません。命が終わったその時から、あわただしく通夜・葬儀の段取りが進められていきます。そんな折「ああ、葬儀の日は友引にあたるなあ・・・」との声を聞くことがあります。

結 論から申しあげますと、葬儀と友引には全く関係はありません。いつの頃からか、誰が言ったか、葬儀が友引にあたると、友が引き連れられて死ぬ、と恐れられてきました。

2 ページにも少し書きましたが、実は「友引」という漢字が間違っているのです。大安・先勝・友引等を総称して「六曜」と言いますが、「友引」と書くとは六曜における意味が通らなくなり、では何か？という正しくは「共引」と書きます。もう少し書くと「仏滅」も間違いです。仏さまは如来常住（永遠不滅の真理）ですから滅することはありません。正しくは「物滅」と書きます。近代の教育が行き届かない時代は「音」を重視しました。そのため誤解が多

く生じたようです。この現象を言霊とも言い、数字の四は死と聞こえ、九は苦と連想してその数字を忌避してきたのです。その一例が四十九日が三カ月に及ぶことを避ける風習でしょう。「始終（四十）苦（九）るしみが身（三）に付き（月）まとう」という語感を嫌つてのものです。いずれも「意味が無い」ので、気にする必要はありません。

六曜の載っているカレンダーの【友引の前後】にご注目ください。

となつてはいるはずで「勝ち」「負け」のあいだは「引き分け」です。「友引」は友を引くのではなく「共引（ともに引き分け）」という意味だったので

先勝←友引←先負

六曜の載っているカレンダーの【友引の前後】にご注目ください。

六曜について

「先勝」「友引」「先負」「仏滅」「大安」「赤口」を『六曜』と言います。

六曜の「曜」は星を意味する漢字（月曜は月、火曜は火星、水曜は水星・・・）で、さらに星は光ることから「お金」をイメージさせることから、六曜は賭け事のタイミングを占う指標として利用されてきました。

その後、明治時代の新暦導入による暦（カレンダー）の販売促進のために六曜が記載されるようになりました。

これを見た当時の人は、何か神秘的な意味があると思ひ込み、慶・弔事の予定と関連付けるようになりまし

ちなみに巖を担ぐ方の多くには大安に結婚式を挙げるカップルは多いと思うのですが、浮気や離婚の話をするのが少なからずあります。また、子どもを出産するときに「今日は仏滅だから産むな！大安まで待つてくれ！」って言っている人を聞いたことはありません。今この「かがやき」を読んでいた方の中にも「仏滅」に生まれた人がいるかもしれませんね。（大安は吉日ではなく、休息日の意）

外的な要因や因習にとらわれず、自分自身を見つめて、仏さまの教えを拠り所にして生きていくことが仏教の根本的な立場であり、釈尊が存命中最後に説法された中身（自灯明・法灯明）でありました。

今回も、北海道の名和先生から仏さまのお話を寄稿いただきました。



北

北海道はいよいよ雪の季節を迎えようとしています。今年も色々なことがありました。北京オリンピック、ロシアによるウクライナ侵攻、円高による値上げの嵐など：また宗教についても改めて考えさせられたのも記憶に新しいところですよ。

浄

土真宗の最大の特徴として、「信心」は、自らが起こす心ではないということが挙げられると言えましょう。「信じるものが救われる」ではなく、「信じることもままならないこの私だからこそ、救わずにはおれない」と常に案じてくださる仏さまがいらつしやることをお聞かせいただくこと。私が忘れても、決して忘れぬ阿弥陀さまの、そのお心に身をゆだねている状態のことを「信心」と言うのだと親鸞聖人はお示しくくださっています。

布教の研修会の時にあるお坊さんがしていたお話です。

ある女性のところに一本の電話がかかってきました。

「こちら警察のものです、お宅の息子さんが事故を起こして通行人にけがをさせてしまいました。被害者の方は示談でいいと話しているの、大至急こちらの口座に振り込んでいただきたいのです。ただいま息子さんに代わりますね：」

その女性はすぐにそれがオレオレ詐欺だということに気付きました。なぜならその女性は五年前に事故で息子さんを亡くしていたのです。

「母さん、俺だよ、事故を起こしちゃつて…大変なんだよ、すぐにお金を振り込んでくれないか」

女性はその声を聞いてハッとしました。亡くした息子の声とそっくりだったからです。まるで死んだ息子が蘇ってそこにいるような気がしました。女性は電話を切ることでできずにその声に聞き入っていました。

「母さん、ごめんよ、助けてくれ」

そこで女性はやつと話したのです。

「あのね、私の息子は五年前に事故で死んで

るの」

電話の音がパタリと止まりました。気まずい空気が受話器の向こうから流れました。しばらくの沈黙の後、電話が切られる前に女性はいました。

「ちよつと待つて、あなたの声、息子とそっくりなの。電話を切る前に、もう一言だけ声を聞かせてもらえないかしら」

しばらくして電話の主はこう言い、電話を切りました。

「母さん」

子

を失っても子を想い続ける母。親鸞聖人は、そのように我が子を想う心と重ね合わせ「阿弥陀さまはまるで母親のような仏さまである」とお示しくされました。日々の生活に追われ、ついつい仏さまのことを忘れがちな私。その私を問い詰めることなく、常に案じてくださる仏さまがいらつしやる：そのお心をお聞かせいただき、その言葉に身をゆだねている状態のことを「信心」というのです。今年も残すところあとわずか。来たるべき年も「ありがとうございませう、南無阿弥陀仏」とお念仏とともに送らせていただきます。

大谷本廟への納骨について

- ・お亡くなりになられてから10年以内の方
- ・1周忌を済ませた方
- ・大谷本廟に納骨を済ませていない方

に毎年2月頃ご案内をしています。納骨を予定される方は、3月の最終土曜日を空けておいてくださいますようお願いいたします。

案内状が届いていない方も納骨することができませんので、お寺までお問い合わせください。



ありがとうございました

本堂に設置していただいた「全ての戦争犠牲者へ支援をお願いします。」の募金額は、一万五千六百三十三円でした。お預かりした募金は、本願寺の「ウクライナ緊急支援募金」に寄付させていただきました。引き続き出来る限りの支援を継続したいと思います。

大光寺ではこれからも引き続き様々な支援を継続していきますので皆様のご協力をお願いします。

令和五年 年回忌表

回忌 逝去年

- 一周忌・・・令和四年
- 三回忌・・・令和三年
- 七回忌・・・平成二十九年
- 十三回忌・・・平成二十三年
- 十七回忌・・・平成十九年
- 二十三回忌・・・平成十三年
- 二十七回忌・・・平成九年
- 三十三回忌・・・平成三年
- 三十七回忌・・・昭和六十二年
- 五十回忌・・・昭和四十九年

※浄土真宗では二十五回忌をお勤めいたしますが、地域によっては二十三回忌・二十七回忌をお勤めすることがあります。高野口では後者の方が多いようですので、二十三・二十七回忌を記載しています。

永代納骨（合祀）墓があります



令和3年1月、大光寺の境内地(敷地内)に永代納骨(合祀)墓が出来ました。

近年増えてきた「墓じまい」後の御遺骨の埋葬や、新たにお墓を建立しない方はご検討ください。

申込書は大光寺のホームページからもダウンロードできます。

詳細はお寺までお問い合わせください。

◎納骨懇志（御布施）

- ・大光寺門徒 1体につき15万円以上
- ・大光寺門徒以外の方 1体につき20万円以上
- ・法名碑への刻印 2万円

お寺の法要にお参りしましょう

お寺の法要へのお参りは浄土真宗門徒、大光寺にご縁のある全ての方々の大切な営みです。先人の言葉に「1日1度は家庭のお仏壇にお参りしましょう。月に1度は手次の寺にお参りしましょう。年に1度は本山本願寺にお参りしましょう。」とお勧めくださっています。

特に報恩講には必ずお参りしましょう。

お寺の法要・行事予定

	大光寺	教楽寺
・ 12月31日 除夜の鐘	午後11時30分頃～	
・ 1月 2日 元 旦 会	午前10時	
・ 3月23日 春季彼岸会	午前10時	午後2時
・ 5月27日 降 誕 会	午前10時	午後2時
・ 8月13日 盂蘭盆会	午前10時	

※どなた様でもお参りしていただくことができます。お気軽にご参拝ください。

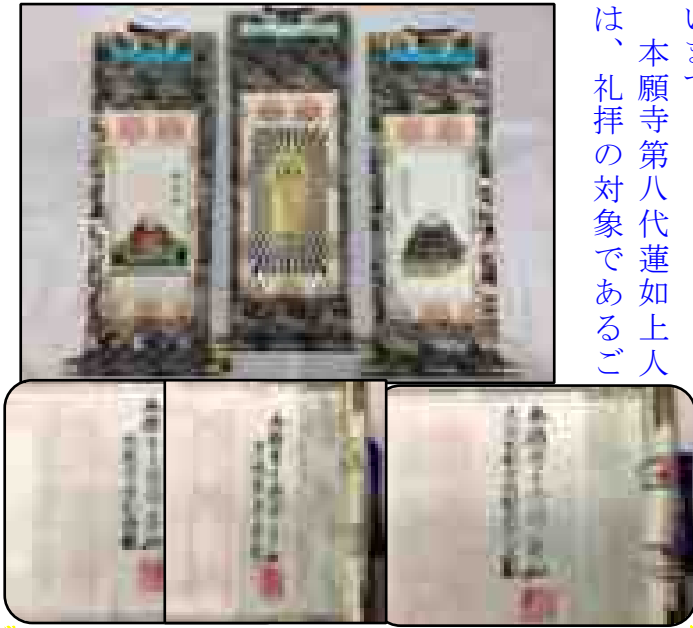
※急遽日付や時間が変更になることがあります。必ずお寺の掲示板でご確認くださいませようお願いいたします。

御本尊は本願寺からお迎えしましょう

本

尊とはお仏壇に奉獻するお掛軸で、阿弥陀如来のおはたらきをそのお姿をもってあらわした「形像本尊(ご絵像)」と、名号(南無阿弥陀仏)をもってあらわした「名号本尊(六字名号)」があります。これに対して、本尊の左右に奉獻するお軸に、親鸞聖人・蓮如上人のお姿が描かれた絵像と、南無不可思議光如来・帰命尽十方無礙光如来の字が書かれた「九字・十字尊号」があり、これを脇掛け(わきがけ)と言います。

本願寺第八代蓮如上人は、礼拝の対象であるご



本尊を数多くの門信徒に授与されています。以降も各歴代のご門主さまからご本尊が授与されてきました。ご本尊を安置するお仏壇はみ教えに生きる私たちにとって、「ここころのよりどころ」であり、先祖代々受け継がれてきた大切な場所であり、これから受け継いでいく大切な場所です。

本

願寺から迎えた絵像(えぞう)の本尊は、阿弥陀如来さまの絵姿が描かれています。本願寺から迎えたかどうかの見分け方は、御本尊であれば、お軸の裏側に「方便法身尊形」と「本願寺々務釋○○」と書かれています。○○にはこのご本尊をお迎えした時の本願寺の御門主様のお名前が書かれています。(写真は今のご門主、専如上人様のものです)。お脇掛けにも同じように親鸞聖人のお軸の裏には「大谷本願寺親鸞聖人真影」蓮如上人のお軸の裏には「本願寺蓮如画像」の文字と、ご本尊の裏書と同じようにお迎えされた当時の御門



主様のお名前と御印が押されています。

名号本尊とその脇掛けについては、裏書を見るのではなく、正面にある赤い印鑑を見ていただければいいと思います。お迎えされた当時の御門主様の印鑑が押されていますのでどうぞご覧ください。

なお、ご本尊が木仏の場合は特に何もする必要はありません。これまで同様大切に手を合わせさせていただきます。

一番大切なことは、本尊をはじめとする掛け軸は京都西本願寺からお迎えをするという事です。お仏壇を購入すると予めセットでついてくる掛け軸は、町版(まちばん)と言い、ほとんどが印刷物で品質も悪く、すぐに反り返ってしまい、また、仏さまのお姿も表情も微妙に異なります。せっかくお仏壇を安置しても中身が印刷物では何にもなりません。西本願寺からお迎えする御本尊等の掛け軸は全て絹本に本願寺が指定した絵師が1枚1枚丁寧に描いています。これはお仏壇を迎える中でも一番大切なことですので、すでに家庭にお仏壇のある方も一度家庭のお仏壇にある掛け軸をご覧いただき、もし町版がかかっているようであればこれを機に本願寺からお迎えされてはいかがでしょうか？

おすすめ書籍の「案内」



「仏壇のローソクはなぜつけるのか」「仏花はなぜこちら向きか」などの素朴な疑問から、仏壇のおかざりやお作法、法要儀式のこと、お墓のことなどをイラスト付きでわかりやすく解説しています。

実はお寺にご相談いただくことの殆どがこの本1冊でほぼ解決するのです。

沢山の項目があり、広く浅く書いていますが、1度お読みいただきましたいかなと思います。

購入をご希望の方は、出版社へ直接お申込みいただくか、お寺までご相談ください。

※本願寺出版社
京都市下京区堀川通花屋町下る
TEL 〇七五二二七一五一八一(代)

目次を一部掲載します。
・亡き人はどこへ行つた？

- ・仏具の配置
- ・浄土真宗では位牌を
用いない
- ・実家のお仏壇を引き
取ってよいか
- ・お墓を継ぐ人がいな
い
- ・墓石にヒビが入った
らどうする？
- ・姓の違う故人の納骨
は？
- ・法事に自分の都合を
優先させない
- ・報恩講はお寺でもつ
とも大切な法要
- ・子どもが生まれたら
お寺へ初参り
- ・引越しの時はお寺
へも連絡を
- ・等々様々な疑問に答え
る1冊です

「おみがき」をしました

10月20日、大光寺・教楽寺でそれぞれの仏教婦人会の皆様と、本堂の仏具を磨く「おみがき」をしました。

おかげで仏具もピカピカになり、清々しく報恩講のおつとめが出来ました。みなさまの家庭のお仏壇の仏具は輝いていますか？

もし長年の使用で、くすんでいるようであれば「おみがき」の時に持ってきてくださいね。一緒に綺麗にしましょう。



左が磨く前
右が磨いた後
綺麗になりました

仏具おみがき「おみがき」の様子。(教楽寺にて)

ちよつと豆知識

お経の本を一緒に持つてお勤めしていただくことが多くあります。

お経の本は、釈尊の真言（お経）や親鸞聖人のお心（正信念仏偈）が納められた大切な経典ですので、**床や畳に直接置くことは避けましょう。**

適度な棚がない場合は、床や畳にハンカチを敷いてその上に置くようにしていただきました。大切に大切に取り扱いしましょう。



直接置かないようにしましょう

西本願寺のページ

ここでは京都西本願寺のご案内をいたします。何かの折に京都へ行かれた際、出来れば本山本願寺を目的に、是非お立ち寄りいただきたいと思えます。本願寺では様々な取り組みを行っていますので、気軽に立ち寄っていただけます。

ご誕生850年
立教開宗800年
参拝申込

二〇二三年（令和五年）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎えする年となります。本願寺では、来年3月から5月に、5期30日間に

わたり、その慶讃（きょうさん）法要をお勤めいたします。

親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、

「立教開宗」に感謝する慶讃法要には是非ご参拝ください。

なお、参拝には事前の申し込みが必要です。申込ページのQRコードを貼っておきますのでご利用ください。

インターネットの利用が苦手な方は、参拝センター（TEL：〇七五-三六六一）までお電話でお申し込みください。国宝の書院や飛雲閣の拝観もできます。



お西さんを知ろう！

お西さんを知ろう！は、本願寺の僧侶

（お西のお坊さん）がガイドとなって本願寺の境内を案内する本願寺ツアーです。どなたでもご自由にご参加いただくことができます。

毎日10時～ 11時30分

13時45分～

15時30分～の1日4回開催されています。

参加をご希望の方は、開催時間までに本願寺境内「発旦案内所（お茶所）」へお越しください。参加

いただいた方は024（おにし）カードがいただけます。カードは全部で24種類、全て揃えると何かイイモノが貰えるかもしれません。

Shinran's Day

毎月16日は親鸞聖人の月命日。

西本願寺ではこの日を機縁に多くの方に本願寺とご縁を結んでいただきたいとの願いから各種イベントを開催しています。本願寺へ行かれた際はぜひお立ち寄りください。

時間 9時10分～9時45分
場所…お茶所
（総合案内所）

※腕輪念珠作り・おい袋作りなどの文化体験

⑤参拝ツアー
予約…必要

場所 日野誕生院【親鸞聖人御誕生の地】
角 坊【親鸞聖人ご往生の地】

比叡山延暦寺【親鸞聖人ご修行の地】
六角堂【親鸞聖人100日参籠の地】
など

⑥いちろく市
時間 9時～15時
場所 門前町、御影堂門・阿弥陀堂門周辺

- ①法要（お勤め）
親鸞聖人月忌法要10時～
場所…御影堂
- ②法話（仏様のお話）
10時35分～10時55分頃
場所…御影堂
- ③国宝書院特別案内
受付 16日9時～10時までに龍虎殿で受付
- 時間 11時（法話終了後）12時頃まで
対象 受付を済ませて法要に参拝した方
- ④京の文化体験
予約…不要



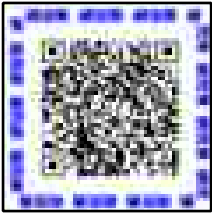


親鸞展

下部に記載のとおり、令和5年に

「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年」を迎えるにあたり、京都国立博物館、朝日新聞社等が主催。真宗教団連合が特別協力し、『親鸞聖人人生誕850年特別展 親鸞・生涯と名宝』が京都国立博物館で開催されます。親鸞聖人の求道と伝道

の生涯を、自筆の名号・著作・手紙をはじめ、彫像・御影・絵巻などを浄土真宗各派（西本願寺・東本願寺・高田専修寺他）の寺院が所蔵する法宝物を一堂に集め紹介されています。国宝11件、重要文化財70件をはじめとする過去最大の出陳件数です。令和5年3月25日から5月21日まで開催されています



本山成人式

「存じない方が多いかもしれませんが、西本願寺では、成人を機縁に親鸞聖人のみ教えに出遇ってもらいたいと、毎年成人式が開催されています。来年は次のとおり開催されます。詳しくは住職まで。 ※期日：令和5年3月12日 ※場所：本願寺御影堂 ※対象：18歳から21歳（01年4月2日～05年4月1日生まれ） ※参加費：無料 ※申込締切：令和5年2月18日

叙勲・褒賞

毎年、春・秋に国の「叙勲・褒賞」の発表があります。大光寺・教楽寺のご門徒の受賞者には、浄土真宗本願寺派より褒賞が授与されますので、住職までお知らせください。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年

二〇二三（令和五）年は宗祖親鸞聖人のご誕生から850年目にあたります。また、その翌年には親鸞聖人が、『顕浄土真実教行証文類（教行信証）』を著され、浄土真宗のみ教えを開かれた「立教開宗」から800年をお迎える年となります。『教行信証』は、私たち浄土真宗の門徒が日頃からお勤めをする「正信偈」をはじめとして浄土真宗成立の根本が親鸞聖人によって示された大切な書物です。京都西本願寺では、二〇二三（令和五）年3月から5月に、5期30日間におたり、その慶讃

法要をお勤めいたします。親鸞聖人が浄土真宗のみ教えを説き示してくださったことへの感謝と、その教えに出遇えたことの喜びを込めて、聖人のご誕生を祝い、「立教開宗」に感謝する慶讃法要をともにお勤めさせていただきます。 二〇二三（令和五）年

第1期	3月29日（水）
第2期	4月3日（月）
第3期	4月10日（月）
第4期	4月15日（土）
第5期	4月24日（月）
第6期	4月29日（土）
第7期	5月6日（土）
第8期	5月11日（木）
第9期	5月16日（火）
第10期	5月21日（日）

場所 西本願寺
時間 基本的には 午前10時 午後二時
の一日二座
・時間変更の日もある

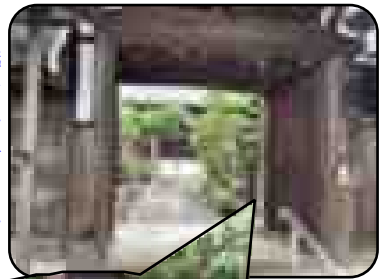


お知らせ

お寺の山門側にインターフォンを設置しました。これまで山門からお入りいただいた時に呼び出しをしていただく術がなく、わざわざ北側玄関まで呼び出しに来ていただいていたのですが、不便さを少しでも解消できたかなと思っています。

お寺にご用の方、法事等でお寺に到着された際はインターフォンでお知らせください。

な機会ですので、どうぞ足をお運びく



稀ます。ださい。

本堂

法事等で本堂を使用する場合、本堂使用冥加金として金10,000円のご進納をお願いしています。

護持費の納入をお願いします

毎年すべてのご門徒様に護持費(10,000円)の納入をお願いしています。お納めいただきました護持費は本堂をはじめとする諸堂宇の維持管理や、仏さまへの御仏飯・お花・お線香等のお供えに充てさせていただきます。何かと厳しい折大変恐縮ですが、未だ納めておられない方は、早々にお納めくださいますようお願い申し上げます。

お願い

ご法事等、お参りのお電話をいただく際、日程に比較的余裕をもってご連絡くださいますようお願いいたします。少なくとも希望日の1カ月前までに、候補日を2つか3ついただくと大変助かります。職場での勤務調整をしなければいけませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

住職直通の携帯電話はコチラ⇒ 090-7488-5765

ご祥月法要のお参りについて

住職を継職してから、月忌参り(常速夜)を休止しております。

祥月命日(故人の正当のご命日)はお参りさせていただきますので、ご希望の方はお寺までご連絡ください。

大光寺 0736-42-3055

